札幌市立澄川中学校　学校だより
響
令和８年（2026 年）10 月 22 日
第 9 号（全国学力・学習状況調査報告）
https://www.sumikawa-j.sapporo-c.ed.jp/

令和8年度「全国学力・学習状況調査の結果」について

令和8年4月20日（月）と23日（金）、5月7日（木）に、国語・数学・英語に関して全国の中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。その調査結果が文部科学省より公表され、本校でもすでに第3学年の生徒一人一人に個人票を配付しております。このほど、本校においても「教科に関する調査（国語・数学・英語）の結果分析と改善の方向について」、「生徒質問紙の調査のまとめ」ができましたので御報告いたします。作成にあたっては、札幌市教育委員会の指導のもとに行っており、教科に関する調査については具体的な数値の公表は行っておりません。教科に関する調査結果は学校HP上に掲載しております。

【生徒質問紙】　本校生徒と全国の生徒との比較を通して

全国平均より上回っている傾向が読み取れる主な項目

△全国平均を上回っている項目　**（肯定的な回答　本校%、全国平均%の順）**

質問事項
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか **（92.4、90.9）**
・人が困っているときは、進んで助けていますか **（92.4、90.8）**
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか **（95.6、95.1）**
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか **（73.4、71.9）**
・友達関係に満足していますか **（91.8、91.2）**
・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか **（67.7、67.5）**
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか **（72.7、72.3）**
・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか **（69.0、65.5）**
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか **（79.1、79.0）**
・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか **（84.2、80.8）**
・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか **（85.5、81.7）**
・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか **（93.1、91.3）**

全国平均より下回っている傾向が読み取れる主な項目

▼全国平均を下回っている項目　**（肯定的な回答　本校%、全国平均%の順）**

質問事項
・朝食を毎日食べていますか **（88.0、90.9）**
・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか **（75.3、80.5）**
・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか **（90.5、92.4）**
・自分には、よいところがあると思いますか **（82.3、84.0）**
・将来の夢や目標を持っていますか **（62.7、67.6）**
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか **（95.5、95.9）**

・学校に行くのは楽しいと思いますか（82.9、85.4）
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか（72.8、78.6）
・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか（89.3、91.0）
・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか（77.2、78.2）
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（70.9、72.3）
・1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（78.4、78.8）
・1，2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか（69.0、70.8）
・1，2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか（73.5、78.9）
・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか（86.7、87.0）
・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか（72.8、78.0）
・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか（82.9、85.2）
・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか（91.8、92.4）
・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（84.2、84.5）
・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか（76.6、77.8）

〇本校生徒の生活実態(%)

平日の家庭学習時間（塾、家庭教師等を含む）	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	しない	
	8.9	14.6	29.7	25.3	10.8	10.8	本校
	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9	全国
休日の家庭学習時間（塾、家庭教師等を含む）	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	1時間未満	しない	
	3.2	4.4	15.2	24.1	17.7	15.2	本校
	5.1	8.0	16.8	22.6	21.4	13.4	全国
平日、学習のためにPC、タブレットなどのIC機器を利用する時間	3時間以上	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	30分未満	使わない	
	2.5	1.3	7.0	10.8	35.4	22.8	本校
	1.7	2.6	7.7	18.0	32.4	26.0	全国

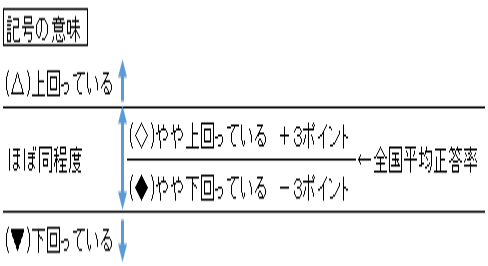
札幌市では「人間尊重の教育」を基盤とし、「学ぶ力の育成」を大切にしています。澄川中学校でも、「学習活動づくり」、「人間関係づくり」、「環境づくり」を関連させて取り組み、生徒の声を反映した「自治的な活動」の充実に努めております。

今後も、引き続き研修等に努めていき、「課題探究的な学習」の充実、「自己肯定感」や「自己有用感」の醸成、「心の居場所のある学級、学年、学校」づくり、一人一人の学習状況を丁寧に捉え、「分かる・できる・楽しい授業づくり」の充実を図っていきます。学習や生活に関する様々な困り感などについても、一層納得・安心につながるようにサポートしていきます。

今回の調査で明らかになった一面を受け止め、今後とも、学校と家庭・地域が一体となって、人間尊重や学ぶことの意義、大切さを伝えていくことが大切と考えております。引き続き御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の内容】 ■「知識・技能」 (1)言葉の特徴や使い方(▼) →全国平均より下回っている (2)情報の扱い方(◇) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている ■「思考・判断・表現」 (A) 話すこと・聞くこと(◇) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている (B) 書くこと(△) →全国平均より上回っている (C) 読むこと(△) →全国平均より上回っている 【評価の観点】 ■「知識・技能」(◆) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている ■「思考・判断・表現」(◇) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている 【問題形式】 ■「選択式」(◇) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている ■「短答式」(◆) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている ■「記述式」(◇) →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている	●「知識・技能」 言葉の特徴や使い方に関して、単語の類別や活用の理解に課題がある。 ●「知識・技能」 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。 ●「思考・判断・表現」 (A) (話すこと・聞くこと) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題がある。	○単語の意味や働きについて、話や文章の中で適切に使うことができるよう、日常の言語活動を充実させる。 ○漢字の構成要素である「へん」や「つくり」などに注目し、字形を正しく捉えたり読みを類推したりできるよう、書く活動を充実させる。 ○互いの考えを捉える中で見出した共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて、自分の考えを伝え合う活動の機会を充実させる。



【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【学習指導要領の領域】

■「A 数と式」(◆)

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

■「B 図形」(◆)

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

■「C 関数」(▼)

→全国平均より下回っている

■「D データの活用」(▼)

→全国平均より下回っている

【評価の観点】

■「知識・技能」(▼)

→全国平均より下回っている

■「思考・判断・表現」(▼)

→全国平均より下回っている

【問題形式】

■「選択式」(◆)

→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

■「短答式」(▼)

→全国平均より下回っている

■「記述式」(▼)

→全国平均より下回っている

記号の意味

(△)上回っている

ほぼ同程度 (◇)やや上回っている +3ポイント ←全国平均正答率 (◆)やや下回っている −3ポイント

(▼)下回っている

今回の調査における課題

●「A 数と式」

・同類項を整理して書き表すこと。

●「B 図形」

・2直線が平行になるための条件を用いて、筋道を立てて考えること。

●「C 関数」

・反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、xに対応するyの値を求めること。

●「D データの活用」

・箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶこと。

●評価の観点

・「知識・技能」の問題では、文字を用いた式の意味を読み取ることを苦手とする生徒がいる。

・「思考・判断・表現」の問題では、事象を数学的に解釈し数学的に説明することを苦手とする生徒がいる。

●問題の形式

・説明を要する記述式の問題を苦手とする生徒がいる。

改善の方向

○多項式について考察する場面で、同類項の意味を確認し、各項を係数や文字の種類、次数などに着目して分類する活動を取り入れる。

○授業の中で、計算問題の演習を多く取り入れる。

○図形の性質を理解し、それらを利用して図形問題を解くこと、説明や証明をすることの反復練習を行うことにより定着を図っていく。

○反比例の意味の理解を深めることができるように、反比例について振り返り、値を求めるだけでなく、その理由を説明する活動を取り入れる。

○複数の集団データの分布に着目して、その傾向を比較して読み取る活動を通して、箱ひげ図の必要性と意味の理解を深める活動を行う。

○基礎学力の定着のために、ワーク等を活用した基本問題に繰り返し取り組むことを大切にする。授業だけでなく家庭学習での反復練習の意識付けをしていく。

○自ら進んで問題に取り組む力を高められるように、授業で「問題を解決する場面や活動」をより多く取り入れる。

○「数学的な見方・考え方」を働かせ、身近な生活において問題を論理的に解決したり、説明したりする力を付けるため、授業で身近な事象や事柄に目を向けさせ、取り上げていく。

○数学への興味・関心を高めるために、授業づくりをさらに工夫し、数学の楽しさを伝えていく。授業と家庭学習(課題)が連続した活動となるように指導していく。

【中学校英語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

今回の調査における課題	改善の方向
●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること。	○『聞くこと』の領域における課題である。『話すこと』の力が向上するにしたがって、聞き取る力も向上することから、日常的に実践的な会話のコミュニケーション活動を実施する。また、必要な情報がどんなものなのかを考える力を育成するために、書くことの学習活動の中で、YES／NO の質問以外に対しても返答を行うような、パターン練習を繰り返し実施する。
●日常な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	○『書くこと』の領域における課題である。日本語であっても、自分の考えや気持ちを整理して伝えることが難しい様子が見られることから、まずは身近な物や場所を紹介するような学習活動を充実させ、次第にそれに対する感想や意見を述べるコミュニケーション活動を通して、学力の向上を図る。
●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。	○『話すこと』の領域における課題である。毎回の授業の中で、生徒自身が語彙や表現を知識として蓄えているだけでなく、実際に活用する実践的なコミュニケーション活動を繰り返し実施する。また、ALT との TT の場面では、その成果を発揮し、生徒が達成感を感じることができるような学習活動を充実させる。